

# 第1期清川村国民健康保険 データヘルス計画

令和元年度(平成31年度)～令和5年度

## 中間評価報告書



令和4年3月  
清川村

# 目次

	ページ
1. 計画策定の背景と中間評価の目的 .....	1
1) 計画策定の背景 .....	1
2) 計画策定の目的 .....	1
3) 計画の期間 .....	1
4) データヘルス計画の見直し .....	1
2. 中間評価結果 .....	2
1) 評価指標 .....	2
2) 定量的評価結果 .....	3
3) 定性的評価結果 .....	5
3. 対策、評価項目の見直し .....	12
4. 見直し後の評価項目 .....	13
 (図表)	
表1 定量的評価結果 .....	4
表2 定性的評価(KPI) 評価表 .....	7
表3 定性的評価結果サマリ表 .....	10
図1 対策別年次別得点 .....	11
図2 評価軸別年次別得点 .....	11
表4 見直しの方向性 .....	12
表5 定量的評価(数値目標)(見直し後・令和3～5年度用) .....	14
表6 定性的評価(見直し後・令和3～5年度用) .....	15

## 1. 計画策定の背景と中間評価の目的

### 1) 計画策定の背景(計画書第1章参照)

近年、診療報酬明細書(レセプト)や特定健康診査等の結果については、電子データにより請求及び提出されるようになったことから、医療保険者においては、被保険者の健康状況や医療機関への受診状況などを容易かつ正確に把握して、データに基づいた保健事業を行うことが出来るようになったため、「すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析に基づくデータヘルス計画の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国民健康保険が同様の取組を行うことを推進する。」との方針が打ち出されました。その方針を踏まえ、保険者は健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効率的かつ効果的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画(データヘルス計画)を策定し、保健事業の実施及び評価を行うこととされました。

### 2) 計画策定の目的(計画書第1章参照)

本村では、平成20年4月より生活習慣病等疾病予防を目的に特定健康診査等実施計画を策定し、特定健康診査の受診率向上や特定保健指導の充実を目標に事業を進めておりましたが、特定健康診査の受診率等は県内では高いものの、全国の目標よりは低い状態が続いていました。そのため、データヘルス計画を策定し、これまでの保健事業の振り返りやデータの分析によって健康課題の把握や効果的な事業の実施方法等を見定めて、本村の特性に合わせた保健事業の展開を進めていくこととしました。

### 3) 計画の期間(計画書第1章参照)

本計画の期間は、第1期として令和元年度(平成31年度)から令和5年度(平成35年度)までの5年間とし、策定しました。

### 4) データヘルス計画の見直し(計画書第10章参照)

適正な進捗管理を行い、定量的評価と定性的評価を毎年実施し進捗状況を明らかにするとともに、特に数値目標を達成できていない事業・プログラムについては改善を図ることとしました。また、令和3年度(平成33年度)には中間評価、令和5年度(平成35年度)には最終評価を行い、「清川村健康増進計画・食育推進計画」や「特定健康診査等実施計画」、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」との整合性を図り、より効果的な事業・プログラムとなるよう見直しを行うこととしています。その他に、KDBから得られる健診・医療・介護のデータ等を活用し、分析を進めるとともに、必要に応じて国民健康保険団体連合会に設置する保健事業支援・評価委員会の指導・助言を受けるものとしています。

本報告書は、これに基づき、「中間評価」を行ったものです。

## 2. 中間評価結果

### 1) 評価指標(計画書第9章参照)

事業実施状況の評価は、実施計画で示した令和5年度(平成35年度)の目標(ゴール)を年度ごとに按分した数値目標により評価する「定量的評価」、並びに事業実施状況をストラクチャー(事業実施体制)、プロセス(事業実施内容)、アウトプット(事業実施量)、アウトカム(波及効果)の4つの軸を用い、業務の質を評価する「定性的評価」の2つの方法で行うこととしました。

#### (1) 定量的評価(数値目標に対する達成状況の評価)

実施計画で示した令和5年度(平成35年度)の目標(ゴール)を年度ごとに按分した数値目標を設定しました。数値目標の達成状況は、「A 目標を達成した」、「B 目標を達成していないが改善傾向にある」、「C 変わらない」、「D 悪化している」、「E 評価困難」の5段階で評価することとしています。

#### (2) 定性的評価(業務の質に対する評価)

事業実施状況を事業評価の4つの軸で評価することとしています。プログラムによっては毎年新たに業務実施体制を整える必要があるもの(ストラクチャー評価が必要)、業務実施体制が既に確立されており、実施内容が問われるもの(プロセス評価が重要)、被保険者が参加する形態の事業のため、参加者数(アウトプット)や参加者の満足度(アウトカム)が問われるものなどの違いがあります。そこで、一律に設定するのではなく、プログラムの特性に合わせ、主要成果指標(KPI: Key Performance Indicators)を設定しました。また、各指標につき、評価段階、評価源泉、評価頻度などを設定しました。なお、指標により評価段階が異なるものがあるため、評価結果は100点満点に換算して比較することとしました。

## 2) 定量的評価結果

定量的評価結果を表1に示します。評価結果が「A 目標を達成した」となったプログラムは2つに留まりました。「A」評価とならなかった対策も多く見られました。以下にそれらについての背景や原因について示し、今後の改善について考察します。

### (1) 「A 目標を達成した」対策

「1-3-1 医療受診勧奨事業」においては令和元年度の対象者は1名のみで、その1名が受診したため100%となりました。他の年度は対象者がいませんでした。「2-2-1 多重・重複受診者対策検討」においては、半年あたりの通知者(深刻なケース)の件数が各年度0~2件となっており、目標を達成しました。

### (2) 「B 目標を達成していないが改善傾向にある」対策

「2-1-1 ジェネリック医薬品の周知啓発活動」、「2-1-2 ジェネリック医薬品利用差額通知書の送付」においては、令和2年度のジェネリック医薬品使用割合は目標68.8%に対して実績66.9%と、目標には達してはいないものの改善傾向にあります。

### (3) 「C 変わらない」対策

「C」評価となった対策はありませんでした。

### (4) 「D 悪化している」対策

「1-1-1 特定健診普及啓発事業「申込書送付」」、「1-1-2 健診結果取得」においては、特定健康診査受診率が令和2年度に低下しました。これは新型コロナウイルス感染症まん延により、通常7月に行っている集団健診を翌年1月に繰り延べたものの、1月にも緊急事態宣言が発令され、通常通りの事業が実施できませんでした。また、個別健診においても受診控えが起きました。そのため、やむを得ないものと考えます。

「1-2-1 特定保健指導利用勧奨事業「個人通知」」、「1-2-2 特定保健指導利用勧奨事業「運動教室」」、「1-2-3 特定保健指導未利用者対策」においては、特定保健指導実施率が令和2年度に低下しました。通常受診結果を取りに来てもらい、その際に初回面談を行っていますが、新型コロナウイルス感染症まん延により、電話連絡、郵送のみとしたため実施率が下がったものです。また、初回開始が遅れたため、年度内終了ができないという状況も起こり、やむを得ないものと考えます。

### (5) 「E 評価困難」対策

「2-2-2 かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の推進」においては、「2-2-1 多重・重複受診者対策検討」と同様、「半年あたりの通知者(深刻なケース)の件数」を目標として設定していましたが、これはかかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の推進の評価項目としては適切ではないため、「評価困難」としました。今回の中間評価の見直し対

象とすべきと考えます。

表1 定量的評価結果

プログラム	評価指標	現状 (H29)		各年度で達成すべき数値目標					目標(ゴール) (R5)	中間評価 達成度
				H30	R1	R2	R3	R4		
1-1-1 特定健診 普及啓発事業「申 込書送付」	特定健康診査受 診率	43.3%	目標		46.6%	50.0%	53.3%	56.7%	60%	D
			実績	<b>44.6%</b>	<b>44.2%</b>	<b>37.4%</b>				
1-1-2 健診結果 取得	特定健康診査受 診率	43.3%	目標		46.6%	50.0%	53.3%	56.7%	60%	D
			実績	<b>44.6%</b>	<b>44.2%</b>	<b>37.4%</b>				
1-2-1 特定保健 指導利用勸奨事 業「個人通知」	特定保健指導実 施率	76.7%	目標		77.4%	78.0%	78.7%	79.3%	80%	D
			実績	<b>60.0%</b>	<b>81.1%</b>	<b>47.1%</b>				
1-2-2 特定保健 指導利用勸奨事 業「運動教室」	特定保健指導実 施率	76.7%	目標		77.4%	78.0%	78.7%	79.3%	80%	D
			実績	<b>60.0%</b>	<b>81.1%</b>	<b>47.1%</b>				
1-2-3 特定保健 指導未利用者対 策	特定保健指導実 施率	76.7%	目標		77.4%	78.0%	78.7%	79.3%	80%	D
			実績	<b>60.0%</b>	<b>81.1%</b>	<b>47.1%</b>				
1-3-1 医療受診 勸奨事業	勸奨者のうち医 療受診者の比率	-	目標		16.0%	32.0%	48.0%	64.0%	80%	A
			実績		<b>100.0%</b>	-				
1-4-1 健康増進 事業		-	目標		-	-	-	-	-	
			実績							
2-1-1 ジェネリック 医薬品の周知啓 発活動	ジェネリック医薬 品使用割合	68.0%	目標		68.4%	68.8%	69.2%	69.6%	70%以上 または県 平均以上	B
			実績	<b>61.1%</b>	<b>64.6%</b>	<b>66.9%</b>				
2-1-2 ジェネリック 医薬品利用差額 通知書の送付	ジェネリック医薬 品使用割合	68.0%	目標		68.4%	68.8%	69.2%	69.6%	70%以上 または県 平均以上	B
			実績	<b>61.1%</b>	<b>64.6%</b>	<b>66.9%</b>				
2-2-1 多重・重複 受診者対策検討	半年あたりの通 知者(深刻な ケース)の件数	6~12 件	目標		1~11件	1~9件	1~8件	1~7件	6件以下	A
			実績		<b>1件</b>	<b>0件</b>	<b>2件</b>			
2-2-2 かかりつけ 薬局、かかりつけ 薬剤師の推進	半年あたりの通 知者(深刻な ケース)の件数	6~12 件	目標		1~11件	1~9件	1~8件	1~7件	6件以下	E
			実績	-	-	-				
2-3-1 単月点検		-	目標		-	-	-	-	-	
			実績							
2-3-2 縦覧点検		-	目標		-	-	-	-	-	
			実績							
2-3-3 被保険者 資格有無の点検		-	目標		-	-	-	-	-	
			実績							
2-4-1 交通事故 等第三者行為求 償事務		-	目標		-	-	-	-	-	
			実績							

凡例	A	目標を達成した	B	目標を達成していないが改善傾向にある	
	C	変わらない	D	悪化している	E

### 3) 定性的評価結果

定性的評価結果を表2および図1に示します。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団健診の時期が変更になり、特定保健指導を通常通りできなかったなど、多くの対策で実施できなかったものがありました。

評価結果を100点満点の得点に換算したサマリ表を表3に示します。なお、総合評価については「A 90点以上 とても良い」、「B 80～89点 良い」、「C 60～79点 やや良い」、「D 60点未満 良くない」、「E 評価困難」で評価しました。

#### (1) 「A 90点以上 とても良い」対策

「1-1-1 特定健診普及啓発事業「申込書送付」」、「1-1-2 健診結果取得」、「1-3-1 医療受診勧奨事業」、「1-4-1 健康増進事業」、「2-1-1 ジェネリック医薬品の周知啓発活動」、「2-1-2 ジェネリック医薬品利用差額通知書の送付」、「2-2-1 多重・重複受診者通知対策」、「2-3-1 単月点検」、「2-3-2 縦覧点検」、「2-3-3 被保険者資格有無の点検」、「2-4-1 交通事故等第三者行為求償事務」など、多くの対策が全年度で「A」評価となりました。

「1-2-4 特定保健指導未利用者対策」については、令和2年度に未利用者に電話にて保健指導を促す対象者が9名でしたが、実施は7名。また、「対象者宅へ訪問し受診勧奨、保健指導」については新型コロナウイルス感染症対策のため実施しなかったため、令和2年度で「B」評価でしたが、中間評価は「A」評価となりました。

「1-2-2 特定保健指導利用勧奨事業「健診結果説明会」」、「1-2-3 特定保健指導利用勧奨事業「運動教室」」については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和2年度、令和3年度には実施できなかったため評価せずとし、令和元年度の評価をもって、中間評価は「A」評価としました。

#### (2) 「B 80～89点 良い」対策

「1-2-1 特定保健指導利用勧奨事業「個人通知」」については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、取りに来てもらうことを中止し、訪問による受診勧奨も中止しました。また、令和3年度も、同様に取りに来てもらうことを中止しましたが、受診勧奨は、電話、訪問とも実施しました。その結果、「B」評価となりましたが、新型コロナウイルス感染症という外的要因によるものであり、やむを得ないと考えます。

#### (3) 「C 60～79点 やや良い」対策

「C」評価の対策はありませんでした。

#### (4) 「D 60点未満 良くない」対策

「2-2-2 かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の推進」については、清川村には調

剤薬局がなく、地元で協議をすることが困難で、進め方が難しかったため、令和元年度、令和2年度は実施できませんでした。令和3年度に厚木薬剤師会との協議を行えるようになり、12月に広報に掲載することにより、啓発活動が始まりました。そのような経緯のため「D」評価となりましたが、今後の対策改善が期待できると考えます。

#### (5) 「E 評価困難」対策

「E」評価の対策はありませんでした。

表2 定性的評価(KPI) 評価表

プログラム	No.	主要成果指標(KPI)	指標種類	評価段階	評価段階	平成31年度(令和元年度)			令和2年度			令和3年度				
						事業概要	活動評価	備考	事業概要	活動評価	備考	事業概要	活動評価	備考		
<b>(1) 生活習慣病等対策</b>																
1-1-1 特定健診普及啓発事業「申込書送付」	1	1対象者あてにがん検診とやまびこ健診(特定健康診査)の案内、申込書を同時に送付	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	7月の集団健診及び8月からの個別健診実施に伴う、がん検診及び特定健診の案内・申込書を5月に同時発送する	5	送付数:2,545件	1月の集団健診及び8月からの個別健診実施に伴う、がん検診及び特定健診の案内・申込書を5月に同時発送する	5	送付数:2,495件	7月の集団健診及び8月からの個別健診実施に伴う、がん検診及び特定健診の案内・申込書を5月に同時発送する	5	送付数:2,463件		
1-1-2 健診結果取得	1	被保険者宛ての通知で事業を周知	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	人間ドックを受けた方のうち特定健診の結果内容の提供等をしていただくことで助成する	5	特定健診の申込時に案内通知を同封	人間ドックを受けた方のうち特定健診の結果内容の提供等をしていただくことで助成する	5	特定健診の申込時に案内通知を同封	人間ドックを受けた方のうち特定健診の結果内容の提供等をしていただくことで助成する	5	特定健診の申込時に案内通知を同封		
	2	対象者が申請の際に結果を取得	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5		5	結果提供数:32件		5	結果提供数:26件		5	結果提供数:19件(R3.11月末)		
	3	取得したデータを特定健診管理システムに入力	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5		5	データ入力数:32件		5	データ入力数:26件		5	データ入力数:19件		
1-2-1 特定保健指導利用勸奨事業「個人通知」	1	対象者あてに受診結果を取りに来てもらう案内を送付	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	対象者に結果と教室の案内を入れて郵送する	5	送付した	対象者に結果のみ郵送する	4	新型コロナウイルス感染症対策のため、取りに来てもらうことを中止し、郵送・電話のみとした	対象者に結果と教室の案内を入れて郵送する	3	個別相談通知を発送		
	2	電話による受診勧奨、訪問による受診勧奨	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5		5	受診勧奨した		4	新型コロナウイルス感染症対策のため、訪問は中止し、電話のみとした		5	電話、訪問とも実施		
	3	保健指導の実施	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5		5	実施率:81.1%		4	実施率:47.1%					
1-2-2 特定保健指導利用勸奨事業「健診結果説明会」	1	医師・栄養士による健診結果説明	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	生活習慣病予防講座として健診結果説明会を1回実施	5	13人が参加して実施	コロナ感染拡大のため実施なし			コロナ感染拡大のため実施なし				
1-2-3 特定保健指導利用勸奨事業「運動教室」	1	対象者あて運動教室の案内通知	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	健診結果からの運動教室を個別1回、集団1回実施	5	検診結果と一緒に郵送にて案内	コロナ感染拡大のため実施なし			コロナ感染拡大のため実施なし				
	2	健康運動指導士による教室の実施	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5		5	問題なく実施								
	3	運動教室参加者数	アウトプット	参加実人数を5段階評価(5:20人以上、4:15人以上、3:10人以上、2:5人以上、1:5人未満)	5		5	個別2名集団26名参加合計28名								
1-2-4 特定保健指導未利用者対策	1	対象者あて電話	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	未利用者に電話にて保健指導を促す	5	対象者0件(全員利用)	未利用者に電話にて保健指導を促す	4	対象9件(実施7人実施)	未利用者に電話にて保健指導を促す	5	対象者2件(全員実施:R3.12月末)		
	2	対象者宅へ訪問し受診勧奨、保健指導	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5		5	対象者0件(全員利用)			コロナの為訪問は実施できない		5	訪問4件(保健指導実施:R3.12月末)		
1-3-1 医療受診勧奨事業	1	対象者リストの作成	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	①やまびこ健診受診者のうちHbA1c6.5以上の者 ②eGFR45以下の者	5	作成した	①やまびこ健診受診者のうちHbA1c6.5以上の者 ②血圧160/100以上の者	5	作成した	①やまびこ健診受診者のうちHbA1c6.5以上の者 ②血圧140/90以上の者	5	作成した		
	2	対象者へ電話または家庭訪問	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5		5	①20名電話勧奨個別相談7人訪問1人 ②15名電話勧奨15人個別相談4人訪問2人		5	①電話勧奨20人個別相談1名 ②電話勧奨18人		5	①電話にて受診勧奨19名個別2名訪問3名 ②実施中		
	3	受診結果の確認	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5		5	未受診者1名に訪問その後受診確認		5	①未受診者なし ②1名健診結果後通院		5	①3名未受診勧奨にて受診 ②実施中		
1-4-1 健康増進事業	1	年度新規対象者へ通知発送	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	・清川カントリーを会場に、一般の部(ウォーキング)と親子の部(運動遊び)を実施 ・マイME-BYOカルテや活動量計を活用したウォーキング継続事業を6月～11月の期間で実施	5	・親子の部は乳幼児親子対象で計画した ・各講師と打ち合わせ実施	・一般の部は感染症対策で定員を減らし、距離をとって清川カントリーでウォーキングを実施予定だったが、雨天中止。幼稚園児対象の運動遊びのみ、幼稚園内で実施した ・ウォーキング継続事業は7月～11月に実施した	5	・感染症対策をとった実施方法について検討・調整した ・雨天時プログラムも検討した ・感染症対策で各事業の縮小・中止がある中、一般の定員20名にすぐ達した ・幼稚園児保護者にも案内した	・生涯学習課と一緒にラジオ体操・ヘルスアップ未病ウォーキング実施 ・ウォーキング継続事業を7月～11月に実施	5	生涯学習課と合同開催できた		
	2	参加を希望する村民の申込み受付	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5		5	広報紙、事業参加者へチラシ配布した		5			5	受付は、保健福祉課と生涯学習課それぞれで行い、協働で開催できた		
	3	事業の実施	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5		5	とてもうまく運営できた		5			5	とてもうまく運営できた		
	4	事業参加者数	アウトプット	参加実人数を5段階評価(5:30人以上、4:20人以上、3:15人以上、2:10人以上、1:10人未満)	5		4	当日は一般17人、親子3組参加(申し込み7組あったが体調不良等で欠席)		4			4	・当日は幼稚園児24人が参加 ・密をさけるため、クラス別に実施した	5	当日一般27人子ども3人参加
	5	事業参加者の満足度	アウトカム	アンケートで「とてもよかった」「よかった」と回答した人の割合を5段階評価(5:90%以上、4:70%以上、3:50%以上、2:20%以上、1:20%未満)	5		5	一般は15名回答中全員が「満足」、親子も「楽しかった」との回答であった		5			5	・アンケート未実施 ・幼稚園教諭からは「また一緒にやりたい」との好意的な感想があった	5	・アンケート実施 ・「満足」の回答が100%

表2 定性的評価(KPI) 評価表(2)

プログラム	No.	主要成果指標(KPI)	指標種類	評価段階	評価段階	平成31年度(令和元年度)			令和2年度			令和3年度		
						事業概要	活動評価	備考	事業概要	活動評価	備考	事業概要	活動評価	備考
<b>(2) 医療費適正化を主とした対策</b>														
2-1-1 ジェネリック医薬品の周知啓発活動	1	税務住民課窓口へのジェネリック医薬品についてのリーフレットの配架	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	ジェネリック医薬品についての情報提供をする	5	5	5	5	5	5	5	5
	2	納入通知書(当初賦課)送付時にパンフレットを同封	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	ジェネリック医薬品についての情報提供をする	5	5	5	5	5	5	5	5
2-1-2 ジェネリック医薬品利用差額通知書の送付	1	500円以上の差額がある被保険者へ通知の送付	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	ジェネリックに変えた時500円以上の差額がある方へ通知を送付する	5	5	5	5	5	5	5	5
	2	通知の送付	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	ジェネリックに変えた時500円以上の差額がある方へ通知を送付する	5	5	5	5	5	5	5	5
2-2-1 多重・重複受診者通知対策	1	重複受診、多重受診、重複投薬対象者の抽出、保健福祉課への提供	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	多重・重複受診者に対し、注意喚起のための通知を送付	5	5	5	5	5	5	5	5
	2	税務住民課、保健福祉課の検討会開催、対策検討	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	多重・重複受診者に対し、注意喚起のための通知を送付	5	5	5	5	5	5	5	5
2-2-2 かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の推進	1	被保険者証更新時にお知らせを同封	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	かかりつけ薬局・薬剤師を持ち、薬の重複使用防止等の通知をする	1	1	1	1	1	1	3	12月広報により周知
2-3-1 単月点検	1	国保連合会への委託	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	国保連合会によるレセプト点検	5	5	5	5	5	5	5	5
2-3-2 縦覧点検	1	国保連合会への委託	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	国保連合会によるレセプト点検	5	5	5	5	5	5	5	5
2-3-3 被保険者資格有無の点検	1	毎月資格の疑義のあるレセプトの点検	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	資格異動等により適切なレセプト請求が行われているかの点検	5	5	5	5	5	5	5	5
	2	過誤調整	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	資格異動等により適切なレセプト請求が行われているかの点検	5	5	5	5	5	5	5	5
2-4-1 交通事故等第三者行為求償事務	1	第三者行為の疑いのあるレセプトの抽出	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	第三者行為の疑いがある被保険者への通知送付	5	5	5	5	5	5	5	5
	2	通知の送付	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	5	第三者行為の疑いがある被保険者への通知送付	5	5	5	5	5	5	5	5

## (6) 評価軸別評価結果

全対策について、「ストラクチャー」、「プロセス」、「アウトプット」、「アウトカム」別の評価結果を表3および図2に示します。

「ストラクチャー」は、新規に立ち上げた対策がなかったため、設定しませんでした。

「プロセス」は93～97点(3年平均96点)と「A」評価となりました。全体的にとっても良い業務実施であったものの、一部円滑に進まなかったものがありました。

「アウトプット」は75～100点(3年平均88点)と「B」評価となりました。立ち上げ時期の令和元年度は88点とやや低めでしたが、令和2年度には新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施数が伸び悩み75点と低くなりました。しかし、令和3年度には同じく新型コロナウイルス感染対策下ではあるものの、工夫し100点に挽回できました。

「アウトカム」は全年度で100点と「A」評価となりました。これは、「1-4-1健康増進事業」の事業参加者の満足度が高かったことに起因します。

表3 定性的評価結果サマリ表

プログラム	No.	主要成果指標 (KPI)	指標種類	評価段階	評価結果			得点			平均点			総合評価			
					R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	中間
<b>(1) 生活習慣病等対策</b>																	
1-1-1 特定健診普及啓発事業「申込書送付」	1	1対象者あてにがん検診とやまびこ健診(特定健康診査)の案内、申込書を同時に送付	プロセス	5	5	5	5	100	100	100	100	100	100	A	A	A	A
1-1-2 健診結果取得	1	被保険者宛ての通知で事業を周知	プロセス	5	5	5	5	100	100	100							
	2	対象者が申請の際に結果を取得	プロセス	5	5	5	5	100	100	100	100	100	100	A	A	A	A
	3	取得したデータを特定健診管理システムに入力	プロセス	5	5	5	5	100	100	100							
1-2-1 特定保健指導利用勧奨事業「個人通知」	1	対象者あてに受診結果を取りに来てもらう案内を送付	プロセス	5	5	4	3	100	75	50							
	2	電話による受診勧奨、訪問による受診勧奨	プロセス	5	5	4	5	100	75	100	100	75	75	A	C	C	B
	3	保健指導の実施	プロセス	5	5	4		100	75								
1-2-2 特定保健指導利用勧奨事業「健診結果説明会」	1	医師・栄養士による健診結果説明	プロセス	5	5			100			100			A			A
1-2-3 特定保健指導利用勧奨事業「運動教室」	1	対象者あて運動教室の案内通知	プロセス	5	5			100									
	2	健康運動指導士による教室の実施	プロセス	5	5			100			100			A			A
	3	運動教室参加者数	アウトプット	5	5			100									
1-2-4 特定保健指導未利用者対策	1	対象者あて電話	プロセス	5	5	4	5	100	75	100							
	2	対象者宅へ訪問し受診勧奨、保健指導	プロセス	5	5		5	100		100	100	75	100	A	C	A	A
1-3-1 医療受診勧奨事業	1	対象者リストの作成	プロセス	5	5	5	5	100	100	100							
	2	対象者へ電話または家庭訪問	プロセス	5	5	5	5	100	100	100	100	100	100	A	A	A	A
	3	受診結果の確認	プロセス	5	5	5	5	100	100	100							
1-4-1 健康増進事業	1	年度新規対象者へ通知発送	プロセス	5	5	5	5	100	100	100							
	2	参加を希望する村民の申込み受付	プロセス	5	5	5	5	100	100	100	95	95	100	A	A	A	A
	3	事業の実施	プロセス	5	5	5	5	100	100	100							
	4	事業参加者数	アウトプット	5	4	4	5	75	75	100							
	5	事業参加者の満足度	アウトカム	5	5	5	5	100	100	100							
<b>(2) 医療費適正化を主とした対策</b>																	
2-1-1 ジェネリック医薬品の周知啓発活動	1	税務住民課窓口へのジェネリック医薬品についてのリーフレットの配架	プロセス	5	5	5	5	100	100	100	100	100	100	A	A	A	A
	2	納入通知書(当初賦課)送付時にパンフレットを同封	プロセス	5	5	5	5	100	100	100							
2-1-2 ジェネリック医薬品利用差額通知書の送付	1	500円以上の差額がある被保険者へ通知の送付	プロセス	5	5	5	5	100	100	100	100	100	100	A	A	A	A
	2	通知の送付	プロセス	5	5	5	5	100	100	100							
2-2-1 多重・重複受診者通知対策	1	重複受診、多受診、重複投薬対象者の抽出、保健福祉課への提供	プロセス	5	5	5	5	100	100	100	100	100	100	A	A	A	A
	2	税務住民課、保健福祉課の検討会開催、対策検討	プロセス	5	5	5	5	100	100	100							
2-2-2 かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の推進	1	被保険者証更新時にお知らせを同封	プロセス	5	1	1	3	0	0	50	0	0	50	D	D	D	D
2-3-1 単月点検	1	国保連合会への委託	プロセス	5	5	5	5	100	100	100	100	100	100	A	A	A	A
2-3-2 縦覧点検	1	国保連合会への委託	プロセス	5	5	5	5	100	100	100	100	100	100	A	A	A	A
2-3-3 被保険者資格有無の点検	1	毎月資格の疑義のあるレセプトの点検	プロセス	5	5	5	5	100	100	100	100	100	100	A	A	A	A
	2	過誤調整	プロセス	5	5	5	5	100	100	100							
2-4-1 交通事故等第三者行為求償事務	1	第三者行為の疑いのあるレセプトの抽出	プロセス	5	5	5	5	100	100	100	100	100	100	A	A	A	A
	2	通知の送付	プロセス	5	5	5	5	100	100	100							
ストラクチャー																	
A 90点以上 とても良い								97	93	96	97	93	96	A	A	A	A
B 80～89点 良い								88	75	100	88	75	100	B	C	A	B
C 60～79点 やや良い								100	100	100	100	100	100	A	A	A	A
D 60点未満 良くない																	
E 評価困難																	

図1 対策別年次別得点

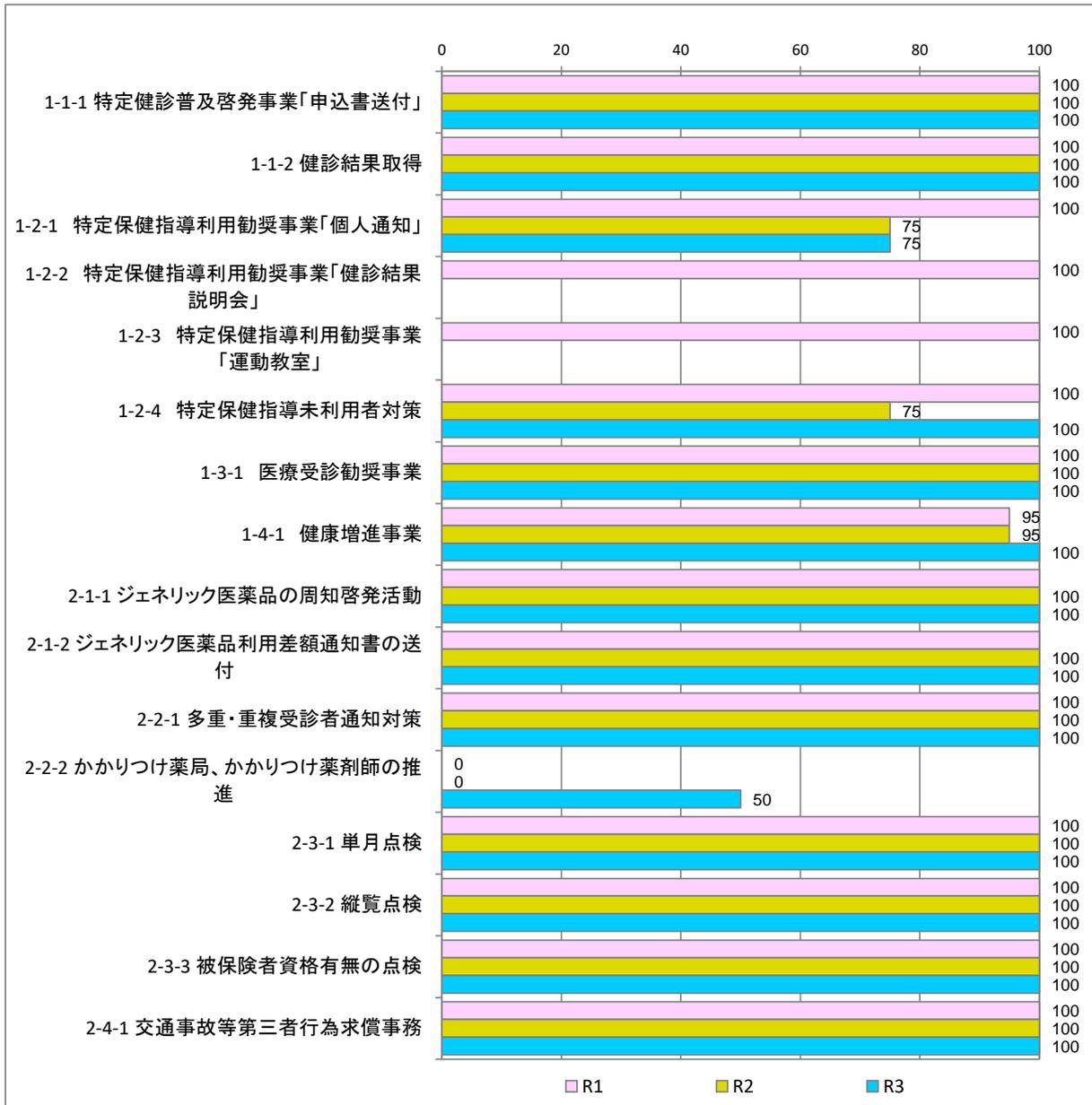
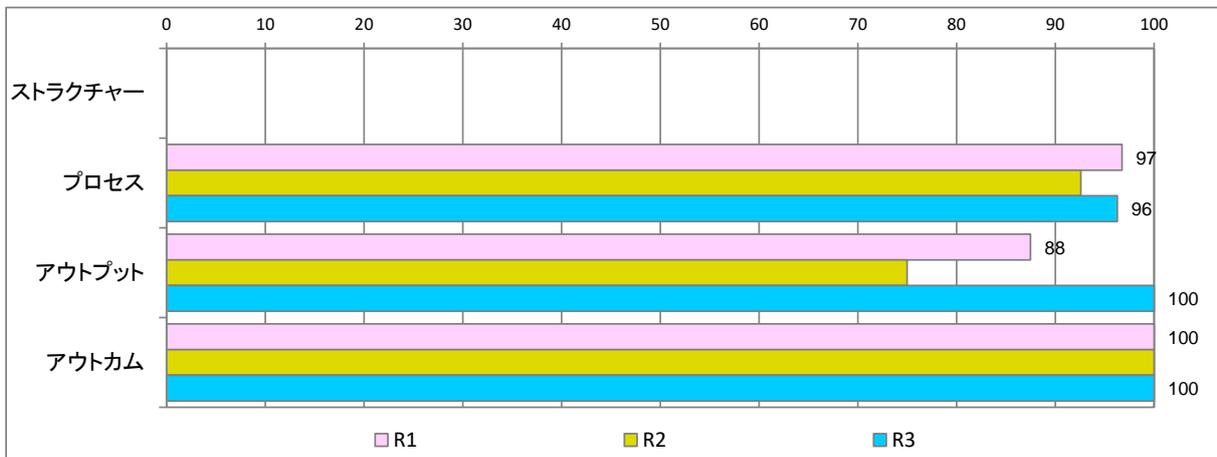


図2 評価軸別年次別得点



### 3. 対策、評価項目の見直し

中間評価の結果、見直しを要する対策は3プログラムでした。

#### 1) 「1-4-1 健康増進事業」について

定性評価で、主要成果指標(KPI)を評価指標の一部が実態と異なっていました。「1年度新規対象者へ通知発送」は、健康増進事業では「1 関係機関との打ち合わせ」となっており、その評価結果が記載されていました。また、「2 参加を希望する村民の申込み受付」は、健康増進事業では「2 事業の周知」であり、となっており、その評価結果が記載されていました。したがって、この2つの指標を健康増進計画の実態に合わせ、修正すべきと考えます。

#### 2) 「2-1-2 ジェネリック医薬品利用差額通知書の送付」について

定性評価で、主要成果指標(KPI)を「500円以上の差額がある被保険者へ通知の送付」としていましたが、令和2年度より200円以上の差額がある被保険者に通知を送るよう変更したため、指標を「200円以上」に変更すべきと考えます。

#### 3) 「2-2-2 かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の推進」について

事業概要が対象者に個別通知を行う内容になっており実態に合っていないため、「広報・啓発活動」を行う内容に修正すべきと考えます。

定量評価(数値目標)については、「2-2-1 多重・重複受診者対策検討」と同様、「半年あたりの通知者(深刻なケース)の件数」を目標として設定していましたが、これはかかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の推進の評価項目としては適切ではないため、「評価困難」となりました。啓発広報活動を評価指標とすべきと考えます。

定性的評価においては「被保険者証更新時にお知らせを同封」を主要成果指標(KPI)としていましたが、同封するパンフレット等が作成されていないため現実的ではありませんでした。啓発活動を指標にすべきと考えます。

表4 見直しの方向性

プログラム	評価結果		領域	問題点・原因	見直し方策
	定量	定性			
1-4-1 健康増進事業	-	A	定性評価	評価指標の一部が実態と異なっていた。「1 年度新規対象者へ通知発送」は実際には「1 関係機関との打ち合わせ」。「2 参加を希望する村民の申込み受付」は実際には「2 事業の周知」であった。	主要成果指標(KPI)を修正する
2-1-2 ジェネリック医薬品利用差額通知書の送付	B	A	定性評価	主要成果指標(KPI)を「500円以上の差額がある被保険者へ通知の送付」としていたが、令和2年度より200円以上の差額がある被保険者に通知を送ると変更したため、指標を変更すべきと考える。	主要成果指標(KPI)を再設定する
2-2-2 かかりつ	E	D	事業	「かかりつけ薬局・薬剤師を持ち、薬の重複使用防止等	「かかりつけ薬局・薬剤

け薬局、かかりつけ薬剤師の推進	概要	の通知をする」を事業概要としていたが、被保険者個別にかかりつけ薬局・薬剤師を設定しているかどうかを把握することが困難なため、個別に「通知をする」ことができない。そのため、事業概要を実態に合わせ、変更すべきと考える。	師について広報・啓発活動を行う」と変更する
	定量評価	「2-2-1 多重・重複受診者対策検討」と同様、「半年あたりの通知者(深刻なケース)の件数」を目標として設定していたが、これはかかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の推進の評価項目としては適切ではないため、「評価困難」となった。啓発広報活動を評価指標とすべきと考える。	評価指標および各年度で達成すべき数値目標を再設定する
	定性評価	「被保険者証更新時にお知らせを同封」を主要成果指標(KPI)としていたが、同封するパンフレット等が作成されておらず、現実的ではないため、啓発活動を指標にすべきと考える。	主要成果指標(KPI)を再設定する

#### 4. 見直し後の評価項目

##### 1) 定量的評価(数値目標に対する達成状況の評価)

見直し後の定量的評価項目を表5に示します。

##### 2) 定性的評価(業務の質に対する評価)

見直し後の定性的評価項目を表6に示します。

##### 3) 見直し後の評価項目の使用年度

見直し後の評価項目については、令和3年度～令和5年度の評価に用いるものとして示します。

表5 定量的評価(数値目標)(見直し後・令和4～5年度用)

プログラム	評価指標	現状(H29)		各年度で達成すべき数値目標					目標(ゴール)(R5)
				H30	R1	R2	R3	R4	
1-1-1 特定健診普及啓発事業「申込書送付」	特定健康診査受診率	43.3%	目標		46.6%	50.0%	53.3%	56.7%	60%
			実績	<b>44.6%</b>	<b>44.2%</b>	<b>37.4%</b>			
1-1-2 健診結果取得	特定健康診査受診率	43.3%	目標		46.6%	50.0%	53.3%	56.7%	60%
			実績	<b>44.6%</b>	<b>44.2%</b>	<b>37.4%</b>			
1-2-1 特定保健指導利用勧奨事業「個人通知」	特定保健指導実施率	76.7%	目標		77.4%	78.0%	78.7%	79.3%	80%
			実績	<b>60.0%</b>	<b>81.1%</b>	<b>47.1%</b>			
1-2-2 特定保健指導利用勧奨事業「運動教室」	特定保健指導実施率	76.7%	目標		77.4%	78.0%	78.7%	79.3%	80%
			実績	<b>60.0%</b>	<b>81.1%</b>	<b>47.1%</b>			
1-2-3 特定保健指導未利用者対策	特定保健指導実施率	76.7%	目標		77.4%	78.0%	78.7%	79.3%	80%
			実績	<b>60.0%</b>	<b>81.1%</b>	<b>47.1%</b>			
1-3-1 医療受診勧奨事業	勧奨者のうち医療受診者の比率	-	目標		16.0%	32.0%	48.0%	64.0%	80%
			実績		<b>100.0%</b>	-			
1-4-1 健康増進事業		-	目標		-	-	-	-	-
			実績						
2-1-1 ジェネリック医薬品の周知啓発活動	ジェネリック医薬品使用割合	68.0%	目標		68.4%	68.8%	69.2%	69.6%	70%以上または県平均以上
			実績	<b>61.1%</b>	<b>64.6%</b>	<b>66.9%</b>			
2-1-2 ジェネリック医薬品利用差額通知書の送付	ジェネリック医薬品使用割合	68.0%	目標		68.4%	68.8%	69.2%	69.6%	70%以上または県平均以上
			実績	<b>61.1%</b>	<b>64.6%</b>	<b>66.9%</b>			
2-2-1 多重・重複受診者対策検討	半年あたりの通知者(深刻なケース)の件数	6～12件	目標		1～11件	1～9件	1～8件	1～7件	6件以下
			実績		<b>1件</b>	<b>0件</b>	<b>2件</b>		
2-2-2 かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の推進	広報・啓発活動件数	0件	目標		-	-	-	1件以上	1件以上
			実績	<b>0件</b>	<b>0件</b>	<b>0件</b>	<b>1件</b>		
2-3-1 単月点検		-	目標		-	-	-	-	-
			実績						
2-3-2 縦覧点検		-	目標		-	-	-	-	-
			実績						
2-3-3 被保険者資格有無の点検		-	目標		-	-	-	-	-
			実績						
2-4-1 交通事故等第三者行為求償事務		-	目標		-	-	-	-	-
			実績						

表6 定性的評価(見直し後・令和4～5年度用)

プログラム	No.	主要成果指標(KPI)	指標種類	評価段階	評価源泉	評価頻度
<b>(1) 生活習慣病等対策</b>						
1-1-1 特定健診普及啓発事業「申込書送付」	1	1対象者あてにがん検診とやまびこ健診(特定健康診査)の案内、申込書を同時に送付	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
1-1-2 健診結果取得	1	被保険者宛での通知で事業を周知	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	2	対象者が申請の際に結果を取得	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	3	取得したデータを特定健診管理システムに入力	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
1-2-1 特定保健指導利用勸奨事業「個人通知」	1	対象者あてに受診結果を取りに来てもらう案内を送付	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	2	電話による受診勧奨、訪問による受診勧奨	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	3	保健指導の実施	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
1-2-2 特定保健指導利用勸奨事業「健診結果説明会」	1	医師・栄養士による健診結果説明	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
1-2-3 特定保健指導利用勸奨事業「運動教室」	1	対象者あて運動教室の案内通知	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	2	健康運動指導士による教室の実施	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	3	運動教室参加者数	アウトプット	参加実人数を5段階評価(5:20人以上、4:15人以上、3:10人以上、2:5人以上、1:5人未満)	事業報告書	年1回
1-2-4 特定保健指導未利用者対策	1	対象者あて電話	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	2	対象者宅へ訪問し受診勧奨、保健指導	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
1-3-1 医療受診勧奨事業	1	対象者リストの作成	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	2	対象者へ電話または家庭訪問	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	3	受診結果の確認	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回

表6 定性的評価(見直し後・令和4～5年度用)(2)

プログラム	No.	主要成果指標(KPI)	指標種類	評価段階	評価源泉	評価頻度
1-4-1 健康増進事業	1	関係機関との打ち合わせ	ストラクチャー	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	2	事業の周知	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	3	事業の実施	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	4	事業参加者数	アウトプット	参加実人数を5段階評価(5:30人以上、4:20人以上、3:15人以上、2:10人以上、1:10人未満)	事業報告書	年1回
	5	事業参加者の満足度	アウトカム	アンケートで「とてもよかった」「よかった」と回答した人の割合を5段階評価(5:90%以上、4:70%以上、3:50%以上、2:20%以上、1:20%未満)	事業報告書	年1回
<b>(2) 医療費適正化を主とした対策</b>						
2-1-1 ジェネリック医薬品の周知啓発活動	1	税務住民課窓口へのジェネリック医薬品についてのリーフレットの配架	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	2	納入通知書(当初賦課)送付時にパンフレットを同封	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
2-1-2 ジェネリック医薬品利用差額通知書の送付	1	200円以上の差額がある被保険者へ通知の送付	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	2	通知の送付	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
2-2-1 多重・重複受診者通知対策	1	重複受診、多受診、重複投薬対象者の抽出、保健福祉課への提供	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	2	税務住民課、保健福祉課の検討会開催、対策検討	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
2-2-2 かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の推進	1	村広報誌への掲載、啓発ポスターの掲示、リーフレットの配架などの啓発活動を行う	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
2-3-1 単月点検	1	国保連合会への委託	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
2-3-2 縦覧点検	1	国保連合会への委託	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
2-3-3 被保険者資格有無の点検	1	毎月資格の疑義のあるレセプトの点検	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	2	過誤調整	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回

表6 定性的評価(見直し後・令和4～5年度用)(3)

プログラム	No.	主要成果指標(KPI)	指標種類	評価段階	評価源泉	評価頻度
2-4-1 交通事故等第三者行為求償事務	1	第三者行為の疑いのあるレセプトの抽出	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回
	2	通知の送付	プロセス	5段階(5:とてもうまく運営できた、4:大体よく運営できた、3:ほぼ問題なく運営できた、2:多少問題があった、1:うまく運営できなかった)	事業報告書	年1回

A	90点以上	とても良い
B	80～89点	良い
C	60～79点	やや良い
D	60点未満	良くない
E	評価困難	

第1期清川村国民健康保険データヘルス計画  
令和元年度(平成31年度)～令和5年度  
中間評価報告書

発行 令和4年3月

企画編集 清川村 税務住民課

〒243-0195 神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷 2216 番地

TEL 046-288-3849(直通) FAX 046-288-1909

ホームページ <http://www.town.kiyokawa.kanagawa.jp/>